

# ダムの風だより



「大町ダム管理所」の近況をお知らせする広報誌です！



国土交通省 大町ダム

## 洪水期、防災操作なしで終了

今年の6月～9月の全国降水量は、北陸地方などの日本海側を中心に、やや少なめの状況となっています。大町ダムでも、流域平均雨量が平年に比べて、6月と7月が少なく、全体的にも雨量が少なめとなりました。

大町ダム流域では、台風が流域付近および流域の東側に上陸・接近する場合と、前線が日本列島を横断・停滞する場合に大雨となります。

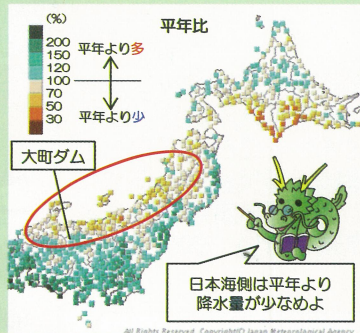
今年は台風の発生が例年より早く、また発生頻度も多くなっていますが、日本に接近・上陸した台風の全てが大町ダムの西側を通過しました。また、前線も日本の南岸で停滞するパターンがほとんどでした。そのため、大町ダムでは洪水（ダム流入量200m<sup>3</sup>/s以上）を調節する防災操作を行うまでの大雨は降りませんでした。

ちなみに、今年他県で大きな被害をもたらした台風18号は大町ダムで流域平均雨量116mmを記録しましたが、最大ダム流入量は108m<sup>3</sup>/sで、洪水にはなりませんでした。

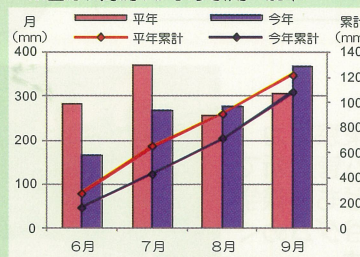
しかし、過去に大町ダムで発生した12洪水の最大ダム流入量とそのときの流域平均雨量の実績を見ると、流域平均雨量が115mmでも、洪水となることがあります。同程度の雨量でも雨の降り方によっては、洪水となる可能性がありますので、注意が必要です。

近年、地球温暖化の影響もあり、雨の降り方が局所化、極端化しています。日々の気象情報をチェックし、気象には十分に注意して下さい！

※大町ダムでは6月1日～9月30日の期間を「洪水期」と定めています。



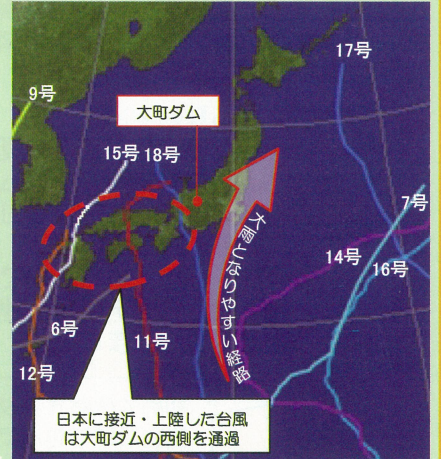
降水量の平年比 (6/20～9/18)  
※図は気象庁HPより引用・加筆



大町ダム流域平均雨量

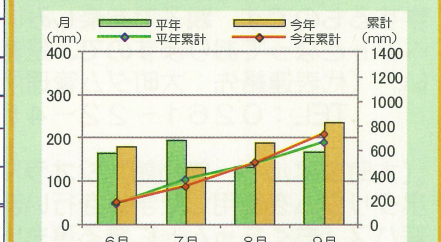
順位	最大ダム流入量 (m <sup>3</sup> /s)	流域平均雨量 (mm)	要因	降雨期間 (降雨時間)
1位	291	221	梅雨前線	H8.6.24-6.26 (38時間)
2位	278	159	低気圧	H10.5.11-5.13 (34時間)
3位	274	148	梅雨前線	H11.6.29-6.30 (31時間)
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
11位	211	132	梅雨前線	H7.7.8-7.9 (34時間)
12位	204	115	梅雨前線	H17.6.29-6.30 (14時間)
今年	108	116	台風18号	H27.9.8-9.9 (32時間)

最大ダム流入量とそのときの流域平均雨量の実績



2015年台風経路

前号の「ダムの風だより」で、夏前はエルニーニョの発生により、大町市～安曇野市にかけて雨量が多くなるのでは？ということをお知らせしましたが、実際に大町市にある「大町アメダス（気象庁）」では、大町ダム流域平均雨量とは違い、平年よりも雨量が若干多い状況となりました。



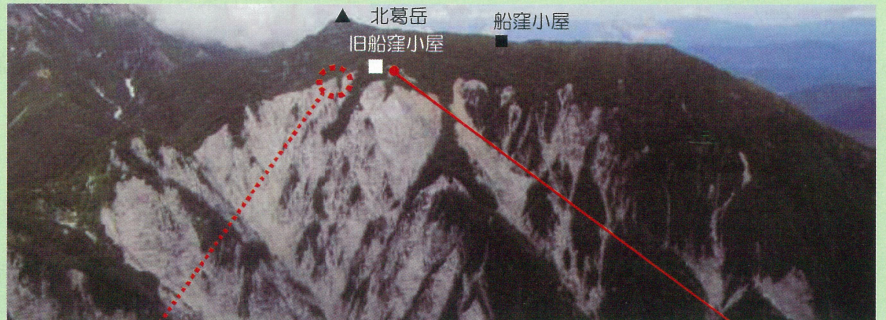
大町アメダス（気象庁）

## 高瀬川上流調査を実施！

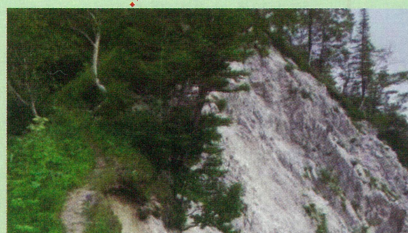
大町ダム管理所では、「高瀬川上流域調査」として、土砂の流出が著しい不動沢の崩壊状況を把握するため、7月13日にヘリコプターによる上空からの調査、8月4日～5日には徒歩による現地調査を行いました。

調査を行った結果、写真のように崩壊の範囲は尾根にまで広がっていました。また、基盤である花崗岩の風化が著しいことを確認しました。船窪小屋のご主人のお話では、「昭和44年の豪雨災害で昔の山小屋の地面に亀裂が入ったため、現在の場所に山小屋を移動した。」とのことでした。

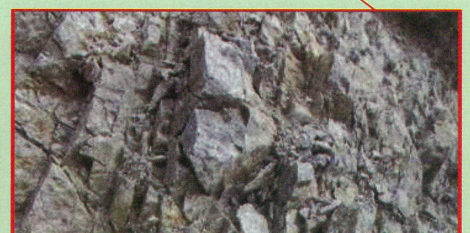
不動沢上流部でも崩壊斜面の拡大が進行していることがわかりました。



不動沢上流部（7月13日ヘリコプターからの撮影）



崩壊状況（8月4日撮影）



風化した花崗岩（8月4日撮影）



## 大町ダム職場体験・夏期実習

### 【中学生による職場体験】

大町ダム管理所では、毎年、地元中学校からの依頼でダムの職場体験を受け入れています。今年は、7月2日（木）～3日（金）に大町市立第一中学校の生徒3名が体験しました。職場体験では、まず洪水から地域の人々を守る大町ダムの役割を学び、その後ダム湖の巡視や機械設備の点検などの仕事を体験しました。最初は少し緊張した様子でしたが、意欲的に取り組んでいました。

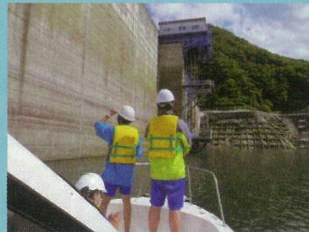
### 【大学院生による夏期実習】

北陸地方整備局が募集している夏期実習（インターンシップ）において、今年初めて大町ダムでも信州大学院生1名が実習に来ました。期間は8月20日（木）～28日（金）の約1週間で、大町ダムの管理業務、機械・電気通信設備の点検作業を実習しました。そのなかで、堤体漏水量の経年変化と貯水位の関係についてデータ整理作業を行い、最終日にその成果を発表してもらいました。



初めて体験するダム管理の仕事に対して、真剣に取り組んでいるね。

大町市立第一中学校 職場体験（3名）



**ダム湖の巡視**  
ダム湖に流木等の浮遊物が無いか確認しました。



**放流ゲート**  
ダムから水を流す設備の説明を受けました。

信州大学 夏期実習（1名）



**ダム管理所操作室**  
実際の放流操作装置や監視カメラを点検しました。



**成果発表会**  
実習でまとめた成果を職員の前で発表しました。

## 高瀬渓谷ダムめぐり

（公財）大町エネルギー博物館、東京電力（株）高瀬川総合制御所及び大町ダム管理所では、大町市が行っている「大町市子ども体験学習号」を利用し、合同企画「高瀬渓谷ダムめぐり」を11月中旬まで開催しています。

「高瀬渓谷ダムめぐり」は、大町エネルギー博物館を起点として、高瀬渓谷の3ダム（大町ダム、七倉ダム、高瀬ダム）や水力発電所を見学するものです。親子でお楽しみいただけるイベントとなっておりますので、是非ご参加下さい。（代表連絡先：大町ダム管理所 TEL：0261-22-4511）

【大町エネルギー博物館】ジオラマ模型やプラネタリウムを使用した学習を行います。珍しい新バス「もくちゃん」に乗る事も出来ます。

【大町ダム】ダム内部の点検通路を歩いて、放流ゲート室などを見学出来ます。

【高瀬ダム、七倉ダム及び水力発電所】ロックフィルダムで高さ日本一を誇る高瀬ダムと七倉ダム、地下にある水力発電所を見学出来ます。



博物館のジオラマを使った学習  
（平成27年8月2日撮影）



高瀬ダムの展望台から見えるダム湖  
（平成27年8月8日撮影）

## 紅葉 ～大町ダム周辺のおすすめポイント～

高瀬渓谷は紅葉の名所で、毎年10月下旬～11月上旬に見頃を迎えます。大町ダム周辺では、ダムに流れ込む北葛沢や高瀬渓谷緑地公園などで美しい紅葉を楽しむ事が出来ます。紅葉の状況はホームページの写真ギャラリーで毎週お届けしますので、是非紅葉狩りにお越し下さい。



北葛沢の紅葉  
（平成26年10月16日撮影）

## 博物館めぐりスタンプラリー開催中！

大町市内では、8月8日（土）～11月3日（火）の期間、大町博物館連絡会が主催する「おおまち博物館めぐりスタンプラリー」のイベントを開催中です。

市内の博物館に台紙とそれぞれ固有のスタンプが備えてあり、博物館を見学する毎にスタンプを1つ押していきます。スタンプを3つ集めると、大町市のキャラクター「おおまびょん」のオリジナル缶バッジが貰えます。大町ダム情報館でも実施しておりますので、高瀬渓谷にお越しの際には是非お立ち寄り下さい。（詳細は大町ダムホームページにも掲載）



スタンプ台紙と缶バッジ



洪水から地域の人々の生命や財産を守り、ふるさとの大切な水資源を活かすことが大町ダムの使命です。ダムに関するご意見やご要望もお待ちしております。

国土交通省 北陸地方整備局 大町ダム管理所

〒398-0001 長野県大町市平字ナロラ大クボ2112-71 TEL. 0261-22-4511(代) FAX. 0261-22-4512

http://www.hrr.mlit.go.jp/omachi/